

【(株)多摩ニュータウン開発センター】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

活用戦略で定めた「団体の将来像」

不動産管理・運営のノウハウを生かし、多様な主体と連携しながら地域の再生やにぎわいづくりに貢献

重要課題 ①

多摩ニュータウンの再生が課題となる中、地域における良好な環境や価値の維持・向上に向けて、まちづくり・にぎわいづくりへの貢献や多様な主体との連携にどのように取り組んでいくか

検討の状況や今後の方向性

- 現在、多摩ニュータウン西部の南大沢駅周辺は、生活利便性の高い、にぎわい溢れる成熟した街並みを形成し、当社は、開発の先導役として、南大沢の発展に貢献してきた。
- 今後は、地域の状況や住民ニーズの変化に機敏に対応し、南大沢の活況を引き続き維持するとともに、持続的に街を発展させていく取組が求められている。
- 短期的には、保有資産を活用し、首都大学東京等、地域コミュニティと連携したイベントの開催や、近隣商業施設、鉄道事業者などの事業主体の調整に努め、新たな駐車場割引サービスを展開するなど、にぎわいづくりの牽引役としての役割を果たしていく。
- 中期的には、空き施設等を活用し不動産事業に関わる関係者のマッチング、イベント企画、住替えニーズや若者の定住への対応など多摩ニュータウンの再生に寄与していく。

【（株）多摩ニュータウン開発センター】の課題と今後の方向性

重要課題 ②	増大する資金需要を支える主要事業の安定化
検討の状況や今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">○ 現在、当社の主要事業であるビル賃貸と駐車場賃貸は、いずれも高い稼働状況にある。この状況を維持するには、これらの不動産の価値を高め、適正な賃料水準のもと、テナントの維持・確保を図る必要がある。○ 一方、民事再生により生じた債務償還、主要ビルの老朽化に伴う大規模修繕等により、今後、必要経費の増大が見込まれる。○ このため、大規模修繕計画に基づきリニューアルを確実に進めるとともに、情報発信力強化やセキュリティ対策など建物の付加価値を高め、執務・滞在環境の向上により競合ビルとの差別化を図っていく。